

アンケート調査（案）について

令和 4 年 3 月

農林水産省

中山間地域等直接支払制度のアンケートについて

1 調査対象

- ① 集落協定
- ② 個別協定
- ③ 廃止協定（第4期対策末（令和元年度末）で廃止した集落協定）
- ④ 未実施集落（これまでに本制度を実施していない中山間地域の農業集落）
- ⑤ 市町村（本制度実施市町村）

2 目的

本制度の効果、課題や改善点のほか、人口減少・高齢化が進み弱体化する集落機能の現状と今後の意向等について把握し、次期制度検討等の参考資料とする。

3 調査対象数

- ① 集落協定：R2年度集落協定 23,421協定のうち、一定の数
- ② 個別協定：〃 〃 564協定
- ③ 廃止協定：1,996協定のうち、一定の数
- ④ 未実施集落：7,600集落のうち、一定の数
- ⑤ 市町村：R2年度市町村 990市町村

4 調査項目

【集落協定】

- ① 協定役員の状況、協定と集落の範囲について
 - ・協定代表者、事務担当者
 - ・協定の範囲⇒ 協定の役員の状況や後継者の見込み、協定と集落の重なりの実態を把握する。
- ② 集落戦略について
 - ・集落戦略作成に当たっての課題
 - ・課題等への対応方法
 - ・集落戦略策定による効果⇒ 集落戦略を計画に終わらせないための工夫や課題への対応方法を把握する。
- ③ 加算措置について（加算措置別に調査）
 - ・取組に当たって中心となった者
 - ・取組に当たっての課題
 - ・実施したことによる効果⇒ 加算措置の取組への課題や効果等を把握する。
- ④ 本制度の効果について
 - ・荒廃農地の発生・防止効果
 - ・本制度に取り組んでいない隣接集落の農用地の状況
 - ・制度全体の効果⇒ 本制度に取り組んだことによる効果を様々な角度から把握する。
- ⑤ 5年後（10年度）の集落の状況について
 - ・5年後の農用地の状況
 - ・集落の寄り合いや行事の回数
 - ・地域のまとめ役や農業の担い手の存在
 - ・集落の生活支援活動⇒ 集落機能が弱体化している中、今後の集落機能がどうなるのかを把握する。
- ⑥ 次期対策の継続意向について
 - ・活動継続の意向
 - ・協定広域化の意向
 - ・協定と地域他組織との連携した活動の状況と意向
 - ・協定廃止の理由⇒ 次期対策や広域化の意向、農村RMOの可能性などを把握する。
- ⑦ 制度の改善点等について
 - ・制度の改善点
 - ・農用地や農村を維持するために有効な支援策
 - ・本制度の必要性⇒ 集落を維持するため、どのような支援策等を必要としているのかを把握する。

4 調査項目

【個別協定】

- ① 協定の概要について
 - ・個人・法人
 - ・年齢、後継者等
 - ・周辺の集落協定の存在⇒ 個別協定がどのような状況で経営しているのかを把握する。
- ② 本制度の効果について
 - ・荒廃農地の発生・防止効果
 - ・本制度に取り組んでいない隣接集落の農用地の状況
 - ・制度全体の効果
 - ・制度の必要性⇒ 本制度に取り組んだことによる効果を様々な角度から把握する。
- ③ 5年後（10年度）の農用地の状況について
⇒ 今後の経営意向等を把握する。
- ④ 経営規模拡大に当たっての農用地の条件
⇒ 経営規模拡大意向のある担い手が求めている農地について把握する。
- ⑤ 次期対策の継続意向について
 - ・活動継続の意向
 - ・農用地や農村を維持するために有効な支援策
 - ・協定廃止の理由⇒ 集落を維持するため、どのような支援策等を必要としているのかを把握する。

【廃止協定】

- ① 協定を廃止した理由
⇒ どのような協定が、どのような理由で廃止したのかを把握する。
- ② 現在の集落や農用地の状況について
 - ・集落の話し合いや行事のまとめ役の存在
 - ・農業の担い手
 - ・元協定対象農用地の状況
 - ・以前と比べた集落の寄り合いや行事の回数⇒ 協定廃止後の農用地や集落の現状を把握する。
- ③ 協定の範囲等について
 - ・集落協定の活動範囲と農業集落の範囲⇒ 協定と集落の重なりの実態を把握する。
- ④ 農用地や農村を維持するために有効な支援策
⇒ 集落を維持するため、どのような支援策等を必要としているのかを把握する。
- ⑤ 近隣の集落協定への参加意向
⇒ 他の集落協定との統合の可能性を把握する。

3 調査項目

【未実施集落】

- ① 集落や農用地の状況について
 - ・ 集落の話し合いや行事のまとめ役の存在
 - ・ 農業の担い手の存在
 - ・ 農用地の維持・管理状況
 - ・ 最近の荒廃農地の状況
 - ・ 以前と比べた集落の寄り合いや行事の回数
 - ・ 集落の生活支援活動

⇒ 集落の農用地や集落機能について、現状と今後の状況を把握する。
- ② 本制度に取り組んでいない理由について
 - ・ 制度の認知度
 - ・ 過去、本制度に取り組むことが話題となったか
 - ・ 今後の取組意向

⇒ 本制度に取り組んでいない理由、今後の取組意向について把握する。
- ③ 農用地や農村を維持するために有効な支援策
 - ⇒ 集落を維持するため、どのような支援策等を必要としているのかを把握する。

【市町村】

- ① 本制度による効果
 - ・ 荒廃農地発生・防止防止への貢献度
 - ・ 本制度の効果
 - ・ 本制度の必要性

⇒ 本制度が地域にどのような効果を及ぼしたのかを把握する。
- ② 制度の改善点等について
 - ・ 制度の改善点
 - ・ 農用地や農村を維持するために有効な支援策

⇒ 集落を維持するため、どのような支援策等を必要としているのかを把握する。
- ③ 今後の農地の利用や集落機能等について
 - ・ 次期対策の継続見込み等
 - ・ 5年後の農用地の利用、集落機能等

⇒ 次期対策の継続見込み、今後の農地利用や集落機能の状況を把握する。
- ④ 集落戦略について
 - ・ 作成に当たっての課題
 - ・ 課題に当たっての対応方法

⇒ 集落戦略について、どのような対応したのかを把握する。
- ⑤ 農村RMOの推進意向について
 - ・ 現在の推進状況と今後の意向

⇒ 農村RMOの推進状況と今後の意向を把握する。